

議会基本条例の取組状況を検証しました

福島市議会では平成26年4月に議会基本条例を施行し、その目的を達成するため、さまざまな取り組みを行い、その施行状況を毎年検証しています。

◆検証内容

基本条例の3つの基本方針

- ①市民に開かれた議会
- ②議員間の自由闊達な議論・討論を行う議会
- ③政策立案や政策提言を積極的に行う議会

に基づく取り組みを中心とした15項目を議会改革検討会において協議し、評価および今後の取り組み方針を決定しました。

今後も議会基本条例の基本理念のもと、議会のあり方や諸課題について検討し、市民の皆さまに分かりやすく開かれた議会を目指してまいります。

◆今後の取組方針（検証結果）

★市民に分かりやすい言葉・表現の方法を用いた議会運営、議案、委員会資料の公開、市民参加の推進など11項目（A評価）

→今後も継続して取り組むべき

★議案などに対する議員個人の賛否の公表、積極的な政策立案など4項目（B評価）

→賛否の公表は、新議場開設後の採決システムによる公表について検討を継続すべき

→政策立案の実施に向けてさらに先進事例等の研究、検討を進めるべき

◆その他見直しが必要と認められるもの

★全員協議会については重要案件であり、多くの市民にとって関心のある内容であるため、会議録の公開に向けた検討を行うべき。

詳しい内容はこちらからご覧ください。



常任委員会の新たな所管事務調査がスタートしました

市議会では、各常任委員会が所管する市の事務に関する調査を行い、その調査結果に基づき市長などに対し、政策立案と政策提言を積極的に行っております。

このたび、各常任委員会で新たなテーマを決定し調査を開始しました。

総務

◆テーマ：生成AIが与える行政運営への影響に関する調査

◆目的：将来を見据えた効率的かつ効果的な行政運営に資するため、生成AIが与える行政運営への影響について効果や課題などに関する調査を行う。



文教福祉

◆テーマ：認知症対策と家族支援に関する調査

◆目的：誰もが認知症、家族介護者となりうる超高齢社会において、認知症患者と家族が地域で末永く生活できるようにするための必要な支援に関する調査を行う。

経済民生

◆テーマ：持続可能な農業の振興に関する調査

◆目的：農業の担い手不足に歯止めをかけるため、効率化、所得の向上と経営の安定化など、安心して農業に従事できるよう、持続可能な農業の振興に関する調査を行う。

建設水道

◆テーマ：市営住宅の今後のあり方に関する調査

◆目的：様々な社会の変容に対応した持続可能な市営住宅整備の実現に向け、市営住宅の現状や課題を把握し、今後のあり方に関する調査を行う。